

(別紙様式4)

提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案 件 名 : 人と環境にやさしい農業推進計画 (案)
意見募集期間 : 令和8年2月19日～令和8年3月11日
意見等の提出件数 : 5件 (3人)

項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
第3	地球温暖化の防止に貢献する取組は農業でも重要になると思うので新たな環境負荷低減活動に取り組む計画となっているのは非常によい。農家がこのような取組を積極的に続けられるよう、技術の検証や現場での普及に力を入れてほしい。	1	【既に盛り込み済み】 そのように取り組んでいきます。
	(推進施策3) 「農産物の流通・販売対策」の中に「温室効果ガスの排出量削減に資する活動」の要素をもう少し積極的に取り入れてはどうか。流通距離が短い「地産地消」の推進や、物流の担い手不足にも対応する「通勤等のついで配送」、「異業種共同配送」の推進など、温室効果ガス排出量削減につながる農産物の流通・販売・購入方法にも踏み込んだ計画になることを期待。	1	【今後の検討課題】 施策実施において、検討していきます。
	(推進施策3) 5つ星ひょうごも兵庫県認証食品同様素晴らしい商品が充実しているが、この計画に記載がないのは他部署の施策のためか。	1	【その他】 5つ星ひょうごは環境負荷低減が出品条件で設定されておらず、本計画で推進する人と環境にやさしい農業の趣旨とは異なるためです。
	(推進施策4) 「ターゲットに応じた手法による県民の理解醸成」で人と環境にやさしい農業全体の広報に新たにシンボルマークを作成することだが情報を届けるうえでマークの種類(兵庫県認証食品のロゴマーク・有機JASマーク)が多いと混乱や正しい理解の阻害を招くことも考えられる。そのようなリスクを防ぐことができる手法でマークを活用できるのであれば良いが、新たなマークを認知させるコストや難しさを考えると、その他の施策に注力されてはどうか。	1	【その他】 長年推進してきた環境創造型農業から幅を広げ、新たに人と環境にやさしい農業に舵を切って推進していくため、県民の皆様に親しんでいただけるようブランディングを行い、広報戦略を策定する中で、取組全体のシンボルとして活用するマークを作成するものであり、商品に貼付するマークが増えるものではありません。今回作成するシンボルマークを含めそれぞれのマークの意図について理解を深めていただけるよう広報していきます。

	<p>(推進施策4)</p> <p>計画からは、マーケティング的発想を試行錯誤して組み入れようとする努力は感じ取れる。さらに研鑽を続けてほしい。</p>	<p>1 【既に盛り込み済み】</p> <p>そのように取り組んでいきます。</p>
--	--	--